

## ■研究課題

2型糖尿病における末梢血単球数と動脈硬化指標との関連性の検討

## ■研究の趣旨

日本人の死因の約 3 割は動脈硬化性疾患であり、動脈硬化を予防・治療することは重要です。特に糖尿病患者では動脈硬化が起りやすいことはよく知られていますが、そのメカニズムについては未だ不明な点が多いのが現状です。動脈硬化形成には血液中に存在する単球が重要な役割を担っていることが知られていますが、糖尿病患者における末梢血単球数と動脈硬化との関連性については明らかになっていません。

## ■研究の目的

本研究の目的は、2型糖尿病における末梢血単球数と動脈硬化指標との関連性を検討することです。

## ■研究の方法

2005 年から 2015 年の間に、2型糖尿病治療のために当科に入院し、末梢血単球数、糖代謝指標、動脈硬化指標、動脈硬化リスク因子（血圧、脂質、炎症反応）、体脂肪量、糖尿病合併症の検査をされた患者さんの検査データを収集します。その過去のデータを用いて、末梢血単球数と動脈硬化指標との関連性を統計学的に解析します。

## ■連絡先

本研究に関する連絡先は以下の通りです。本研究は収集した過去のデータから患者さんの個人情報に削除し、匿名化した後に解析を行いますので、個人情報の漏洩の危険性はありません。本研究について疑問がある方は遠慮なくご連絡ください。

島根大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 助教 金沢一平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2183

FAX: 0853-23-8650